

ながの環境パートナーシップ会議
平成22年度第4回 幹事会 会議記録

日時 平成22年8月2日(月)18時から19時50分

場所 会議室6(市役所第二庁舎4階)

出席幹事 7人

(弓場、高木、金井、渡辺、中村、安藤、水野)

欠席幹事 0人

会議内容

- 1 長野市第二次環境基本計画策定のための意見募集について
 - ・ 策定の内容とスケジュール、市民アンケートについて事務局から説明した。今後、ながの環境パートナーシップ会議の意見をお聞きしていく。市民アンケートについては調査内容(案)について幹事の意見をお聞きすることになった。
*会員の意見も聞くことを考えたが、その後の環境審議会でかなりアンケート内容について意見がでて、変更する箇所が出てきたので、幹事にのみ意見をお聞きすることにした。(事務局より)
- 2 スキー場跡地の自然復元プロジェクトの予算再検討について
再検討のための資料が間に合わなかったため、現在の状況についてのみお知らせした。詳細は 主な意見・質疑等に記載。次回の幹事会で再検討する。
- 3 「環境総合センター」設置スペシャルプロジェクト進捗状況
資料にて今までのミーティングの内容と今後のスケジュールのついてお知らせした。8月中に提案内容をまとめ、9月の幹事会で承認を受け、第一庁舎建設室に提案書を提出する。
- 4 信州環境フェアスペシャルプロジェクト進捗状況について
ブースの内容やかかる費用などについて事務局から説明。支出については2万円程度予備費から支出することが承認された。また、フェア当日のスタッフについては、各チームに2人ずつお願いすることを決定した。
- 5 ふれあいまつり申し込み内容について
現在の申し込み内容について事務局から説明。また、事前にチケット(1冊200円)を20冊P会議で購入することになることと、9月13日午前に市役所内をまわってチケットを売ることも説明した。詳細については次回の幹事会で詰める予定。
- 6 排出権取引ワークショップについて
ちらしの内容について確認。申し込み期限のみ変更。長野市「広報ながの」くらしのチャンネルに掲載予定だが、申し込み期限が9月8日以降でないとう受けてもらえないため、8日にあわせることになった。
- 7 プロジェクトチーム活動報告
太陽エネルギー普及促進、食品トレイ・レジ袋使用削減、ウエザーステーション、生ごみの削減・再利用システム構築、市民の森づくりプロジェクトから報告があった。
- 8 新会員承認について
2名申し込みがあり、全員承認された。保険手続きを行う。

9 その他

- ・長野市第4次総合計画策定市民フォーラム21開催についてお知らせした。すでにメールマガジンではお知らせしているが、環境部会に限らず、大勢の方に参加していただきたい。

今後の日程等

信州環境フェア

8月21日～22日 ビッグハットP会議の紹介、COP折り紙プロジェクト

幹事会

- (1) 日時・場所：9月2日(月)18:00～ 会議室23(市役所第二庁舎7階)
- (2) 内容：プロジェクトチームの活動状況報告、環境総合センター提案、ふれあいまつりの参加、排出権ワークショップ・ロゴマーク募集ほか。

お知らせ

会費について、8月末が納入期限となっています。お早めに納入をお願いします。支払いについては郵便局口座への振込みも可能です。手数料は振込み者負担ですが、ご希望あれば事務局へお知らせください。

主な意見・質疑等

1 長野市第二次環境基本計画策定のための意見募集について

- ・市民アンケートはかなりのボリュームだが、これでも答えてもらえるのか。
前回(5年前)も同様に行っている。比較することで方向性がみられると期待している。P17は市民のみなさんには分からないことがあると思うがこれも前回やっている。
分からないという回答もある。
市街地と中山間地に住む人とは違うと思う。
- ・アンケートは無作為抽出とあるが、どのように抽出するのか。
5000人の抽出だが、市役所の情報政策課で3つの属性(地域・性別・年齢)について捉えられる。それをランダムに抽出する。
- ・7ページは、自然が残っているといいことをみるのか。
アレチウリも入っているの、悪いものも両方。
温暖化対策は5年前と社会情勢が変わっているのはそのあたりを付加したりしている。すべて前例踏襲は良くないので、その時代の背景にあったものにしたい。

2 スキー場跡地の自然復元プロジェクトの予算再検討について

《現在の状況について》現在、スキー場の草刈前に植生調査を行っている。貴重な植物があることが分かったため。GPSで地図におとし、その部分は草刈をしない。草刈については、大岡支所と連携してやるが、支所としてはシルバー人材センターに頼む方法を検討中。部分的に植物を残さなくてはいけないため。スキー場を管理しているのが観光課だが、7月に跡地利用について大岡の住民自治協議会に意見を募集し、今それをまとめている。9月にまた自治協へ跡地利用の案を提案して、意見をもらう予定。植生調査は観光課でも把握している。観光課と大岡支所では、住民自治協全体で対応するのは難しいので、専門部会を作って、そこにプロジェクトのメンバーも入ってもらえればいいのかと考えている。

- ・林務のほうでGPSがあるのか。
市役所に森林整備課というところがあって、その職員がプロジェクトのメンバーになっている。そこからGPSを借りる。

3 「環境総合センター」設置スペシャルプロジェクト進捗状況

- ・進捗状況について事務局から説明。次回のミーティングからセンター設置チームの馬島さんと今回の幹事会で承認されれば武田さんが加わることを確認。

4 信州環境フェアスペシャルプロジェクト進捗状況について

- ・ 生ごみ堆肥で作ったきゅうりの提供を安藤幹事に依頼。
- ・ スタッフの確保について、出来るだけチームの方にも関わってもらいたい。
チームに2名出してくださいとお願いするか。
都合が悪ければしょうがないが、お願いしたい。
前日準備と当日二日間か？
内容による。21日の開場までに間に合えばいい。前日は3時から準備なのでこれの人が限られる。
*この点については、チームにお願いするのは21・22日の二日間になりました。
- ・ 折り紙プロジェクトは専門性があるから、いくら学生でもその場ですぐにやることは出来ない。事前に練習してくるくらいはしないと。
学生に期待していたのは、COP10についてまとめておりがみをそこに貼るということ、そうすると一連の流れで学生としてもレポートでまとめやすいし、いいのではと考えた。
いずれにしても、折り紙を教えてくれる人は別にお願ひしないと。
なんでも折れる人が二人くらいいれば、その人に教わりながらできると思う。
折る種類は動物でなくてもいい？
生物多様性なので、動物でなくてもいい。
幼稚園では折り紙をやったりするかな？幼稚園の先生を育成する大学とかに依頼するのはどうか。
それと、折り紙同好会とかもあると思う。教えたがっている人もいるのではと思うので、同時進行でお願いしてみる。
- ・ 花の種で、ゴーヤとかアサガオとかグリーンカーテンのものはだめか。1年たつと種は使えないか。
もう花の種は手配済みなので、今回は無理。
- ・ 予備費の使用の目安は？
花の種は17円×500袋で8,500円くらい、消耗品あわせて2万円くらいか。
2万円を限度に予備費から支出する。
- ・ 準備については当日の朝とするが、8月4日出展者説明会があるので、その様子で前日も必要か検討する。(自動車が中に入れるのが前日のみのため、前日はスペシャルプロジェクトメンバーで荷物の運び込みをします。)
- ・ クイズのレベルは、たとえばこういう内容というのが分かったほうがチームで作りにやすすくないか。
こどもたちが簡単にわかるものということをお願いしている。
本当は、展示をみればそこに答えが書いてあるものなら、展示もみてもらえる。
今、水チームから問題がきている。3択で選ぶもの。
- ・ P会議の会員への広報はいつからするか。
お盆前に。スタッフの募集はすぐに。

5 ふれあいまつり申し込み内容について

- ・ チケットの市役所での販売について、P会議として購入したのをそこで販売するわけにはいかないか。
市役所販売は9月13日。P会議のチケットが配られるのは15日の実行委員会なので、それは出来ない。
- ・ 企画内容は、信州環境フェアと同じ、クイズにする。

6 排出権取引ワークショップについて

- ・ 内容について、長野県の排出権の取り組みもいれて欲しい。
- ・ 当日入会者無料となっているが、入会するときはチームは決まっていけないということかそのとおり。チームなしで入会してもらい、10月の幹事会で承認する。

7 プロジェクトチーム活動報告

- ・市民の森とスキー場跡地の共同作戦はすばらしい。
- ・県内視察 芹田の住民自治協との合同研修 40名位、市バスを借りて。また県外視察三重県へ。10名で計画。10名くらいであれば予算内におさまるか。市の職員と一緒に行く場合は市からお金は出るか。

予算はないと思われる。

予算内には収まりそうか。

大丈夫と思われる。

予算内に収まるのであればそれについては承認されているので、いいと思うが。

この視察の目的はどうか。今までも生ごみチームはいろいろなところに視察に行っている。10人でいくことについても、行きたいから行く、ということではなく、必要だからという認識が必要ではないか。

それについては、そもそも予算の組み方を見直さなくてはいけないと思う。今のままではこの状態は変わらない。パートナーシップの運営もこのままでいいとは思えないので、来年の予算の組み方も考えていかなくてはいけないと思う。

どこのチームでも、予算の範囲内だからいいのではないか、という考えになっている。

P会議を他の団体を含めたプラットフォームにしたいと考えているので、今加入していないところにも入ってもらうときに、プロジェクトチームで不平等があってはいけないので、来年に向けて幹事の皆さんにも意見をいただいて予算の組み方を考えていきたい。

見学にいったことを、広く市民へお知らせできるような方法を考えていければいいのではないか。

・ウエザーステーションプロジェクトの関係で、水上さんから、省エネナビを何十台か入れてくれるところを探さなくてはいけないという話を聞いた。それにもし連携できれば。

詳細を事務局で確認して、みなさんにお知らせする。

*この省エネナビについては、ナビを家庭にいれるのは来年度だそうです。今はその準備段階で、水上さんはいろいろな場所に出向いて、お話しをしている段階なので、来年ナビの導入時期に会員にお知らせするなど出来るかと思います。